

令和5年度 日置市教育委員会定例会(9月)

- 日 時：令和5年9月20日(水) 午後1時00分～午後2時00分
- 場 所：日置市中央公民館 研修2・3(3階)
- 出席者：奥教育長
委 員：内村委員・中島委員・鵜木委員・福田委員
事務局：久木崎(事務局長兼教育総務課長)・中鉢(学校教育課長)
松岡(社会教育課長)・立和名(東市来支所教育振興課長)
迫田(日吉支所教育振興課長)・山下(吹上支所教育振興課長)
宮前(教育総務課長補佐)

1 開会

奥教育長： 日置市教育委員会9月の定例会を始めます。

2 前回議事録の承認

奥教育長： 前回8月の議事録の承認をお願いいたします。変更・修正等はありませんか。

鵜木委員： 1文字お願いします。7ページの「奥教育長」から上に4行目です。「庶民や郷土」となっていますが「庶民や郷土」に修正をお願いします。

奥教育長： はい。修正をお願いいたします。他にありませんか。

(特になし)

よろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは8月の議事録は、承認とさせていただきます。

【前回の議事録承認】

署名・押印は、中島委員と福田委員をお願いいたします。

3 委員及び教育長の報告

奥教育長： 委員及び教育長の報告です。中島委員からお願いいたします。

中島委員： 報告の前に、前回は私用で定例会を休ませていただき、すみま

せんでした。ご迷惑をおかけしました。

それでは前回の定例会以降の出席等について、報告させていただきます。学校訪問が2件と体育大会参加が1件となっておりますので、報告させていただきます。

9月7日、鹿児島教育事務所並びに日置市教育委員会合同計画学校訪問で湯田小学校を訪問させていただきました。鹿児島教育事務所より谷川所長を含め7名、市教育委員会より奥教育長を含め5名、計12名で訪問させていただきました。

奥教育長、谷川所長のあいさつの後、山下校長から学校経営説明があり、令和5年度9月現在、在校児童は全8クラス222名、うち特別支援学級が3学級18名となっております。加えて職員数は高学年の英語専科教諭1名、初任研指導教諭1名が含まれる全24名で職員が構成されていると説明されました。

校訓「かしこく ゆたかに たくましく」、学校教育目標「主体的に学びに向かい 心豊かに たくましく強く生き抜く 子供を育てる」を掲げ、「明るく 楽しく 元気よく」の頭文字をとって「AGT」、このAGTをキャッチフレーズに、郷土の教育的風土、創立153周年を迎える学校の良き伝統を尊重するという「風格ある教育の推進」、次に「コミュニティースクールとして『カリキュラム・マネジメント』を意識した開かれた学校づくりを推進する」、3つ目に「職員相互の融和と人間的な信頼関係をもとに、互いに高め合う職員集団を目指す」、4つ目に「こども園等や中学校、高等学校との連携、社会とのつながりを大切にすする」、5つ目に「新しい生活様式と学習指導要領を踏まえた創意工夫ある教育を推進する」、6つ目に「人づくり・社会づくりを担うよりよい働き方や休み方、生き方を目指す」といった計6点を経営目標及び重点項目に掲げて学校づくりを行っているという説明がありました。

特別支援教育の体制づくりにも重点を置き、校内支援委員会、コーディネーターを中心に協議委員会が推進されており、加えて特色ある教育活動として、昭和40年に結成された「湯田校区子供を育てる会」の主催する「ふれあい達志塾」が年2回、夏冬に行われております。本年度24年目を迎える伝統的なこの行事は、野外活動や制作活動及び昔の体験等を子ども達に体験させているも

ので、今年の冬のふれあい達志塾は3年ぶり、また夏のふれあい達志塾は4年ぶりに開催され、児童60名、保護者40名、指導員50名の大人数で大変盛り上がったということでした。

同校では、フューチャーミープロジェクト（自分の将来）に取り組みされており、小学校の段階から自分の将来について意識を高めることが重要ということに着目し、令和2年度から高校の先生方を招いて高校ガイダンスを開催し、「自分が将来どういう学校に進めばいいか」という内容を学習しているとのことでした。これには、伊集院高校、市来農芸高校、鹿児島城西高校等の学校関係の方を招いて開催されているそうです。

9月10日は、東市来中学校第77回体育大会を参観させていただきました。「気炎万丈 熱く心を燃やせ」をスローガンに、本年度上市来中学校と統合し「新生・東市来中学校」としてスタートした今回の体育大会は、コロナ禍以降初めての「終日開催・観覧者の制限無し」ということで、赤・黄・青の3つの組に分かれ、晴天の下、学年別短距離走、クラス対抗リレー、応援合戦等の18種目がプログラム構成されていました。また、熱中症予防のための給水タイムも全3回設けられ、安全に配慮した実施となっていました。残念ながら午前中のみ参観となりましたが、初めての全校、それから観覧者の制限無しということで、大変盛り上がった体育大会となっていました。

9月11日、同じく鹿児島教育事務所、日置市教育委員会合同の学校訪問で、午後から上市来小学校を訪問させていただきました。教育事務所から7名、市教委から奥教育長含め5名、計12名で訪問させていただきました。

田畑校長より学校経営説明があり、在校児童は完全複式で3学級26名、特別支援学級1学級です。特別支援学級のひまわり学級は自閉症及び情緒障害学級で2名が在籍しておりました。職員数は12名でした。

教育目標に「目標をもち、主体的で共に学び・考え・行動できる上小っ子の育成」を掲げ、「基礎・基本の定着と学力の向上」「少人数・複式学級のよさを生かした学習指導の充実」「小中一貫教育の推進」「特別支援教育の充実」「生徒指導の充実と心の教育の推進」「基本的生活習慣の確立」「気力・体力の向上」以上7

つの項目を重点努力目標として掲げて運営されています。

また、学力向上においては、基礎学力の定着に向けて、ICTの活用、1人1投稿を目標に取り組んでいる新聞紙面への投稿に力を入れておられ、特色ある教育として「すてきな笑顔・明るいあいさつ」をキャッチフレーズに、「少人数での学力向上対策として、個人データを生かし、個に応じた学習内容の充実及び展開」「ICT活用やタブレットを持ち帰っての自宅での学習の向上」、先程申し上げた「新聞紙面への積極的な投稿」「学校運営協議会等の地域及び関係機関等との連携」「特に地域の人材を活用した豊かな人材から学ぶ育成に力を入れる」「地域の伝統文化、奉納棒踊り、豊年祭りなど、地域の伝統等に触れ、地域の良さ、また、その文化の継承に力を入れる」など学校・地域・保護者が連携され、円滑に実践されていることを知りました。

上市来中学校が東市来中学校に統合となり、地域の小学校への思いは地域の方々も一層深くなり、素晴らしい自然環境の下、のびのびとした環境で、学力・体力・コミュニケーション能力等が育成されており、教師と児童が一体となった授業等が展開されていることを知ることができました。以上3点でした。よろしくお願ひします。

奥教育長： はい。ありがとうございました。鵜木委員、お願いいたします。

鵜木委員： 報告させていただきます。

9月10日は、伊集院北中学校と伊集院中学校の体育大会に行きました。今年は教育委員会の巡回の時間を考えて、伊集院北中学校を最初にしました。開会式で校長が「77年の歴史の積み上げがあつて、今ここに私達は立っている。歴史の中に生かされていることを心に留め、精一杯努力をしてほしい。人々を感動させるのは、一生懸命に努力し打ち込む姿である。『ネバー・ギブアップ～仲間を信じてさらなる高みへ～』の大会スローガンの下で、全力を尽くしてほしい」と述べられました。

競技は白組・紅組・青組のエール交換から始まり、2年生の100m走、女子選手による800m走、男子選手による1,500m走、3年生の100m走、2年生の学年種目「世渡り上手」、1年生の100m走とプログラムの7番までを見せてもらいました。

女子の800m走にとびぬけて速い生徒がいましたので確認したところ、陸上の県大会で4位に入賞した生徒でした。各学年の100m走でも、きれいなフォームで力強く走り抜ける生徒を何人も目にすることができました。2年生の学年種目「世渡り上手」は、馬の姿勢になって列を作って並んだ生徒達の背中の上を、一人の生徒が歩きながらゴールを目指す種目で、歩く生徒のバランスの取り方と、馬になる生徒達がいかに先回りして態勢を作れるかが勝負の鍵となる種目でした。午前中の早い時間でしたが、日差しの強い中で、給水タイムを取りながら、生徒達が一生懸命に競技している姿が印象に残りました。

その後、伊集院中学校へ移動しました。昼食時間の設定が11時からとなっていたこともあって、着いた時は3年生のフォークダンスが行われていました。その後は午前中の最後の種目となる応援合戦のみが残っているだけでした。

伊集院中学校は、ミスト・シャワーが設置されていました。校長に確認したところ、扇風機型を7基、小さなスプリンクラー型を4基設置したとのことでした。予算はP費で、昨年までオンライン配信をしていた費用を流用したようです。生徒、保護者、職員の方々幾人かにミスト・シャワーの感想を聞いたところ、浴びると気持ちがよく涼しく感じると大好評でした。私も浴びてみましたが、ひんやりとして気持ちがよかったです。

翌日の11日は、鹿児島教育事務所と合同で土橋小学校を訪問しました。完全複式の3学級と特別支援学級2学級の5学級で構成され、児童数は40人、教職員12人の学校です。学校教育目標は「確かな学力と豊かな心を身につけた たくましく生きる力をもつ土橋っ子を育てる」で、「かしこく・やさしく・たくましく」の校訓の下で学力向上、基本的習慣の形成や体力づくりに努めていました。

授業参観をしてみて、一人一人に手が届き、お互いが教え合い深め合う時間を設定できる複式学級のよさを改めて確認できたように思いました。ただ、担任教師の取組姿勢によっては、やや主体性に欠ける部分が見られたように思いましたので、与えられた指導の時間に「主体性を育てるということは、児童が解決の方法を自分なりに選択しながら自分の学びを振り返り、次に生かそう

とする姿だと思うので、もう一度学校で、どのような子どもを育てたいのか、どのような力をつけさせたいのかを確認して、子ども同士が学び合う時間をどのように設定していけばよいかについて考えてください」とお願いしました。

12日は部活動在り方検討委員会に出席しました。運動系部活動、文化系部活動において、ともに日置市において最適と考えられる活動の在り方を検討する中で、令和6年度からモデル事業を実施する案として、3つの方向性が示されました。これらの案について事務局でさらに検討を加え、12月に再度の検討委員会を開催して決定することになります。

17日は飯牟礼幼稚園・小学校の運動会に行きました。創立140周年記念の大運動会であると同時に、飯牟礼幼稚園では最後となる運動会で、一抹の寂しさを感じる運動会になりましたが、「飯牟礼っ子の絆と努力で笑顔かがやく勝利の道」の大会スローガンの下で、園児や児童はカー杯競技に臨んでいました。

走る前に選手一人一人の名前を紹介できるのも小規模校ならではのメリットだと思いました。全ての競技を見せていただく中で、園児の走る姿がかわいく、5・6年生はさすがに上級学年だけあって力強い走りに圧倒させられました。また、地域対抗の「綱引き」や「輪回し」、さらに全児童や地域の有志が参加して踊る「飯牟礼ソーラン」などの種目は、この地区特有の伝統ある種目として位置づけられていることが素晴らしいと思いました。

A L Tも来ていて、「綱引き」「輪回し」に参加していましたが、「輪回し」では経験がないために輪がうまく転がらず悪戦苦闘をしている姿に、地域の方々からは励ましの声が掛けられて微笑ましく思いました。今年の運動会は、保護者や地域の方々にとっても思い出に残る140周年記念大運動会になったのではないかと思います。以上でございます。

奥教育長： はい。ありがとうございました。福田委員、お願いいたします。

福田委員： 報告いたします。

9月10日に吹上中学校の体育大会が開催されました。コロナウイルス感染症の影響で子ども達は初めての1日開催の体育大会となり、夏休みから準備と練習をしてきた応援団の演舞では赤組・

白組とも、とてもかっこいい姿を見せてくださいました。競技では子ども達の一生懸命に競技をする姿を見ることができて、私達も力をもらい、清々しい気持ちになりました。

9月14日、鹿児島教育事務所、日置市教育委員会の合同計画学校訪問がありました。今回は、吹上中学校と花田小学校の2校に参加してまいりました。どちらも取組などが、教育事務所の方々にも好印象だったと思います。

吹上中学校では教師力を高めることに力を入れておられ、校長先生を中心に職員室での雰囲気が高く、それが生徒にも伝わり、私が見た中では生徒の授業態度もとても良かったです。各クラスで自由グループというのを作って、話し合いをするんですが、それもスムーズにできていたと思います。タブレットを使う授業では、タブレットの立ち上げに個人差があり、早く立ち上げる子と、なかなか立ち上がらない生徒がいる中で先生が先に進んでしまっていて、どこだろうとなる子もいて、同じ画面を生徒が見ていなかったりする問題もあるなと思いました。

また、掃除の時間では「本気（マジ）清掃」という取組を実践していました。各掃除場所にリーダーを設けて、そのリーダーに従って清掃をするということでした。以前の校舎は本当に蜘蛛の巣だらけで、どうしたことかと思う校舎でしたが、久しぶりに校舎内を拝見すると、とてもきれいになっておりました。この本気（マジ）清掃が生かされているんだなと思いました。

この日、2校目は花田小学校に行きました。学校に着いてすぐに児童に元気なあいさつを貰いました。先生方の子ども達への思いや、授業の進め方が素晴らしい学校だと思います。私が気付いたことをお話ししますと、どの学級も落ち着いて授業を聞いて、回答に対しての自分の考え方をしっかり言え、他の児童の意見もきちんと聞いていると思いました。

1年生のクラスを見学した時に、全員の机の上に鉛筆数本と消しゴムだけが入る箱が置いてありました。校長先生に聞きましたら、担任の先生が作ってくださった箱だそうです。どうしても1年生は、教科書を置いて、ノートを置いてとなると、机の上がごたごたしたり、筆箱で遊んでみたりとなりますが、そのクラスは四角い箱の中に、鉛筆数本と消しゴムを入れて、机の上に並べて

ありました。そういうのもいい取組だなと思ったところでした。

2年生の道徳の時間を拝見しました。資料の中に小学校の教科書の写しがあり、この子達がどんな内容の授業をするのかを私達も前もって読んで、児童がどのように取り組むのかを見せていただきました。道徳では、自分の気持ちを表すのに道具が使われていました。丸く切った画用紙を赤と青に色分けしてあり、「今、自分の気持ちが青でどれくらい」と動かせるようになっていて、「これくらいの気持ち」というのを子ども達が言葉ではなくて、その図で表せるようになっておりました。上手に言葉で表現できない時にはいいのかなと思いました。

学校はPTAとの連携も取れており、活動も活発に行われ、職員全員が子ども達の担任だという気持ちを持ち、先生同士の話し合いを密にされているので、子ども達の小さな変化にも気付けるそうです。職員室もきれいに整頓されており、常に先生同士で顔が見える状態にありました。これもとてもいいなと思いました。以上です。

奥教育長： はい。ありがとうございました。内村委員、お願いいたします。

内村委員： 8月26日は、吉利地区公民館主催の夏祭りが開催されました。準備が朝8時半から始まりましたが、日吉学園の後期課程の吉利子ども会の生徒が多数参加して、自主的に保護者と一緒に机や椅子を運んだり並べたりしてくれて、会場設営がスムーズにできました。今までの先輩達から受け継がれた伝統で、当たり前のように言われなくても進んで手伝う姿勢に感動しました。

また、プログラムの2番目に、舞台上で日吉学園校歌を全員で堂々と声高らかに合唱しました。感心したのは、花火打ち上げの後、夏祭り終了後に、生徒が朝準備した机や椅子を元の場所になおす作業を、保護者と一緒にする姿を見て、物凄く嬉しく思いました。

9月18日は、敬老会が吉利の中区、南区自治会で開催されました。子ども会の日吉学園の前期課程、後期課程の1名ずつが、敬老を祝し、自分が頑張っていることなどを堂々と発表して、高齢者の方々からたくさんの拍手がありました。また、子ども会全員で高齢者の前で、指体操の歌や、合唱ふるさとを歌い、最後に後期課程生徒しか知らない平成30年3月末に閉校になった吉利小学

校校歌を、参加者全員で声高らかに歌いました。高齢者と子ども達との素晴らしい交流ができました。

9月19日の夕方、日吉学園のプール側の道路を通りましたら、放課後に後期課程の生徒が太鼓の音に合わせて、繰り返し応援団の練習に励んでいました。紅白に分かれて、本番を目指してお互いに切磋琢磨する真剣な様子が伝わってきました。青春の1ページを悔いの無いよう一生懸命に取り組んでいる姿に、頑張れとエールを送りました。夕方6時前までの練習、ご苦労様でした。

グラウンドの芝生もきれいに刈ってあり、敷地回りのフェンスも新しく建替工事が進んでおります。24日の日吉学園運動会は、素晴らしい環境と生徒・児童の躍動感溢れる競技や演舞に期待が大きいです。私からは以上でございます。

奥教育長： はい。ありがとうございます。

それでは私の方からは、2点だけご報告をいたします。

まず、8月30日、韓国南原（ナモン）市から南原市長、他関係の方々がおいでになり、交流会がございました。今回は「陶磁文化発展のための友好協力交流協約」を締結するという大きな目的がありまして、陶磁文化ですので、薩摩焼を中心とした交流になっていくのかなと思いました。沈壽官さんも同席された上での締結式でございました。

9月7日は、吹上の伊作城を文化庁の調査官、県の文化財課の専門員が来られて、視察をしていただきました。史跡としての価値を十分評価いただいて、今後、国指定をいただくための道筋をご指導いただきました。道のりは簡単ではありませんが、日置市の1つの魅力の創出・発信という意味で、社会教育課を中心に取組んでいきたいと思っております。

それから9月1日から5日まで議会の一般質問がございましたので、その内容を別紙でお配りしてあります。4名の方々からご質問を頂きましたので、後で資料をご覧頂きたいと思いますが、特別支援教育、コロナウイルス感染症の後遺症、そして体育館・文化会館の今後を計画していくためのサウンディング調査を依頼していますが、それについてのやり取りがございました。さらには、献血について学校でも取り組むべきではないかというご質問を頂いて、答弁したところでございます。中身については、後で

ゆっくりご覧いただきたいと思いますし、特に体育館・文化会館のサウンディング調査等については、後でもう少し「その他」で触れさせていただきたいと思います。以上で報告を終了します。

4 議事

【議案第7号 伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約の締結に係る市長への意見具申について】

奥教育長： 議案第7号伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約の締結に係る市長への意見具申について説明をお願いいたします。

久木崎事務局長。

久木崎局長： 1ページをお開きください。議案第7号は伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約の締結に係る市長への意見具申についてでございます。伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約の締結について、別紙のとおり、日置市長に対して意見の申出を行うものでございます。

2ページをお開きください。こちらは議会に上程する議案になります。議案第59号伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約の締結についてでございます。この議案第59号は伊集院小学校の校舎増築建築工事の請負契約を締結するもので、1、目的は伊集院小学校校舎増築建築工事でございます。2、方法は、公募型指名競争入札で実施しております。3、金額は2億1,120万円で、4、相手方は、日置市東市来町湯田2283番地 株式会社松建 代表取締役 松崎清香でございます。

3ページをお開きください。建設工事請負契約書を添付してございます。工事名は伊集院小学校校舎増築建築工事でございます。工事場所は日置市伊集院町下谷口地内、工期は議決の翌日から令和6年7月31日までを予定しております。請負代金は2億1,120万円で、うち消費税及び地方消費税の額は1,920万円、契約保証金は2,112万円でございます。この工事について「発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別添の条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。この契約の証として本契約書2通を作成し、当事者が記名押印の上、各自1通保持する。なお、この契約は仮契約とし、契約担当者が議会の議決を得たとき、本契約として効力を生ずる

ものとする」となっております。仮契約締結の日は、令和5年8月30日でございます。令和5年9月29日の最終本会議に上程の予定でございます。

次にこの工事に至った経緯について簡単に説明いたします。小学校1学級当たりの定員は、40人が上限とされておりましたが、2021年の法改正により、この上限が35人に引き下げられました。それまでは小学校1年生のみが35人となっていたものを、段階的に全ての学年が35人学級に移行されることと、伊集院小学校は今後、児童が増加すると見込まれていることから、教室が不足することが確実でございます。このことから校舎増築が必要となり、計画したものでございます。

4ページをお開きください。入札結果でございます。入札執行日は令和5年8月24日で、予定価格は消費税を抜いた金額で1億9,360万円であります。最も低い金額で入札したものが1億9,200万円という結果でございます。入札の参加者は、日置市内5社と、日置市内の業者と共同企業体を組んで参加された1社で、6社の応募がありました。今回落札した株式会社松建の予定価格に対する落札率は99.17%になります。次に、落札業者の主な工事経歴を記載しております。ご確認をお願いします。株式会社松建の会社概要について簡単に説明を申し上げますと、建設工事業・土木工事業などの県知事許可を有した特定建設業であります。資本金は2,000万円、過去2年の定期完成工事高は約2億6,399万円でございます。営業年数は42年という実績でございます。

次に図面を添付してございます。1枚目が配置図です。工事場所は斜線部分で申請建物と表示してあり、管理・教室棟の西側に位置しております。2枚目が平面図、3枚目がそれぞれの方向から見た立面図となっております。建物は鉄筋コンクリート3階建てで、延床面積は596平米、1階に普通教室と多目的教室、2階と3階に普通教室を配置しております。なお、電気設備工事と機械設備工事は、別途発注となっております。以上で説明を終わります。よろしくご審議くださるようお願いいたします。

奥教育長： はい。ありがとうございました。ただ今説明がありました伊集院小学校校舎増築建築工事請負契約につきまして、ご質問はございませんでしょうか。

内村委員：伊集院小学校は平成25年に建て替えて、私はその時も委員でしたが、当面はこれで足りるということでしたが、先程言われたように、40人学級が35人学級になり、今後、児童も増える見込みだということで、10年間で急速に世の中が変わって、子どもが増えたことに驚いています。

今回、2億円の建設資金をかけて6部屋を建築するということですが、将来に向けて当面はこれでなんとかいけるという想定なんでしょうか。

久木崎局長：内村委員が言われたとおり、伊集院小学校の既設校舎は平成24年と25年に建設しております。現在の学級数が32で、普通教室が26、特別支援教室が6となっておりますが、既に普通教室は足りずに、多目的教室を使っている状態です。

令和7年度末に全て35人学級にすると、その時点で今推定される学級数は34となっております。児童数の増加は引き続き伸びて、今は854人ですが、令和11年には900人を超える児童数になると予想されています。

先程言われたように「このクラス数で足りるか」というのは今のところ分かりませんが、伊集院地域については民間による造成工事が計画されていることから、まだ今後も児童数は伸びてくる可能性があります。少子化で他の学校は減る中で、こういった現象が起きていますが、状況を見ながら学校の校舎については検討していきたいと考えております。以上でございます。

内村委員：もう1点、よろしいでしょうか。

伊集院小学校の来年の新1年生の予測数を教えてください。

奥教育長：今資料がありますか。

中鉢課長：手元ございません。

奥教育長：では、後ほどお答えします。

内村委員：設備関係ですが、トイレなどはここに設置されるのでしょうか。

久木崎局長：トイレは既設校舎と屋内運動場のトイレを使用することになります。

内村委員：手洗い場だけあるんですね。

久木崎局長：はい。

内村委員：ありがとうございました。

奥教育長：いよいよ校舎建築が、議会で通りましたら、進んでいくことに

なります。

他にございますか。

(特になし)

それでは議案第7号は、原案のとおり議決とさせていただきますよろしいでしょうか。

(異議なし)

それでは議案第7号は、原案のとおり議決いたします。

【議案 第7号 議決】

5 その他

- (1) 事務局長
- (2) 学校教育課長
- (3) 社会教育課長
- (4) 各支所教育振興課長
 - ア 東市来支所教育振興課長
 - イ 日吉支所教育振興課長
 - ウ 吹上支所教育振興課長
- (5) その他

6 閉会

奥教育長： それでは日置市教育委員会9月の定例会を終了いたします。

終了

署名委員

向村友治 

署名委員

福田直美 

